

# 利用実態調査結果を受けての 市の対応方針

# 利用実態調査結果を受けての市の対応方針

## ■利用実態調査結果

- おでかけワゴン：日曜・祝日や夜間運行（21時以降）を望む声が一定数あり。他の交通機関との接続についても見直しが求められている。
- おでかけタクシー：日曜・祝日や夜間運行（17時以降）を望む声が一定数あり。

## ■市の対応方針の検討内容

観点	検討内容
移動需要 (緊急性・重要性)	<p>日曜、夜間時間帯においても、一定の移動需要は見込まれるもの、平日や日中時間帯と比較すると限定的であり、<b>土曜日でも利用者は減少傾向</b>（おでかけワゴン高麗川駅系統：約8%減、武蔵高萩駅系統：約30%減、※6～8月平均、おでかけタクシー：約30%減、※4～8月平均）にある。</p> <p>日曜・祝日は通勤・通学での需要が低下することに加え、病院等の施設も休診のケースが多く、利用者数が減少傾向にあることは、前運行事業者の実績からも確認できる（R5年度：約25%減、R6年度：約32%減）。</p>
制度設計の経緯 (既存交通事業者との役割分担)	当初導入時において、 <b>普通タクシーや既存交通事業者との役割分担</b> を図るため、運行時間や曜日を限定した経緯を踏まえ、市内公共交通への影響も考慮した分析を経て判断する必要がある。
人員不足・ 労働環境	<p>全国的にも運転士不足が深刻化している中、両運行事業者は<b>高齢の運転士を中心</b>に、限られた人員により<b>運行体制を維持</b>している<b>状況</b>にある。日曜日運行や運行時間の拡大に当たっては、運転士の休日の確保及び<b>長時間労働に起因する健康面・安全面</b>等、「<b>適正な勤務体制の確保</b>」の観点から判断する必要がある。</p> <p>現体制下での運行内容を維持するに当たり、両事業者については、最大限の企業努力をいただいている。</p>

将来にわたって持続可能な公共交通を実現するためには、運行を担う事業者側における運行体制の強化が不可欠である。現段階では、運転士不足等の懸念があるほか、長期的な視点での移動需要の実態を見極める必要がある。

# 利用実態調査結果を受けての市の対応方針

## 結論

- おでかけタクシー・ワゴンとともに、当面は現行の運行内容を維持しつつ、運行事業者側の体制強化（担い手確保）を最優先に進める
- 「運行体制の整備」と「移動需要の実態」を注視した上で、今後の運行内容を慎重に判断していく

### ■次年度以降の運行計画への反映（おでかけワゴン）

	項目	方針	運行内容（案）
運行計画	運行ルート	【一部変更】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高麗川駅東口開設に伴う運行ルートの見直し</li><li>・ 高麗川駅西口停留所の廃止</li></ul>
	運行ダイヤ	【改善】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高麗川駅東口開設に伴う運行ダイヤの見直し</li><li>・ 他の交通機関との乗り継ぎ・接続時間等の見直し</li></ul>
	停留所 (乗降場所)	【一部変更】	高麗川駅東口開設に伴う停留所設置位置の変更
	運行曜日	【現状維持】	日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日
	運行時間	【現状維持】	午前6時台から午後8時台まで（平日・土曜共通）
	乗車運賃	【現状維持】	1乗車につき一律運賃を採用（各種割引制度も変更なし） ※本格運行開始後の動向を分析し、他市の事例を参考にしながら、定期券・回数券の導入を継続的に研究する
	その他	【改善】	利用者人数の多い便・時間帯におけるダイヤ改正、追加便の迅速な対応

# 利用実態調査結果を受けての市の対応方針

## ■次年度以降の運行計画への反映（おでかけタクシー）

項目	方針	運行内容（案）
運行計画	運行範囲	【現状維持】 市内全域（市外への運行については慎重に判断）
	利用者	【現状維持】 市内在住の16歳以上の人（申請年度に16歳となる人も含む）
	予約方法	【現状維持】 電話予約のみ（市内タクシー事業者2社を対象）
	乗降ポイント	【改善】 利用者（追加）の意向を随時、反映し、追加手続に着手
	運行曜日	【現状維持】 日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日
	運行時間	【現状維持】 午前8時から午後5時まで（平日・土曜共通）
	利用料金	【現状維持】 基本料金、各種割引制度（乗継割引・特別ポイント）に変更なし
	その他	【改善】 分かりやすい制度内容及び利用方法の周知を図る